

### 3 オリエンテーション資料

#### 1 目標

学校教育目標	確かな学力と豊かな感性・人間性、高い志を持つ人材の育成
総合的な探究の時間の目標	探求の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な探求を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

#### 2 育成を目指す資質・能力

知識及び技能	課題の発見と解決に必要な基本的知識・技能を身につける。
思考力、判断力、表現力等	実社会や実生活との関りから問いを見出し、課題を立て、情報収集し整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に課題に取り組む態度を養う。

#### 3 総合的な探究の時間で大切にしてほしいもの

課題を通して、「自身(当事者)にとって良い社会とは。」という視点で物事をとらえ、考えとともに、発信する力を身につける。

#### 4 授業内容

探究Ⅰ（1年生）： 興味・関心に応じたグループに分かれ、テーマ別グループで探究活動実施。最終的にポスターを作成・発表を行う。たつの市と連携し、市の課題についての探究活動も実施する。

探究Ⅱ（2年生）： 興味・関心に応じたグループに分かれ、個人で探究活動実施。最終的にスライドを作成・発表を行う。地域グループは、たつの市と連携し、探究活動を実施する。

探究Ⅲ（3年生）： 興味・関心に応じたグループに分かれ、個人で探究活動実施。探究Ⅱで作成したスライドを元に論文を作成する。

#### 5 大学入試との関係

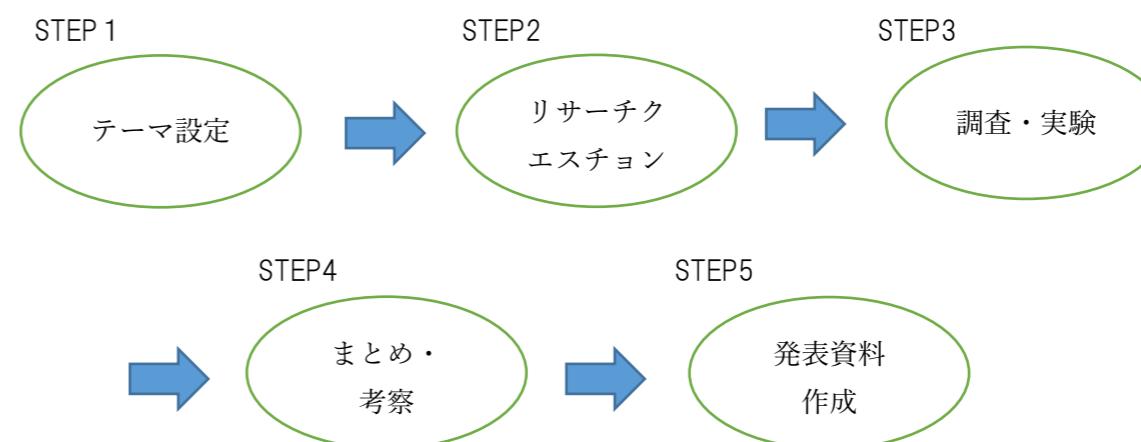
新しい大学入試制度で重視される資質・能力は「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」の3点。「知識・技能」は当然として、大学入学共通テストは「思考力・判断力・表現力」も問われ、総合型選抜、学校推薦型選抜では「学びに向かう力・人間性」も問われる。

実社会や実生活との関りから、探究を実践することで、志望理由書・小論文・面接・グループディスカッション等に対応できる「思考力・判断力・表現力」を育成し、課題に対する自身の関心を深め、「学びに向かう力・人間性」を養う。

→ 探究は「一般入試」に加え、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」までを視野に入れた資質・能力の育成につながる。

### 6 「総合的な探究の時間」取り組みについて

<イメージ>



#### STEP 1 テーマ設定

- ① 「自身にとって良い社会とは」という視点をもつ
- ② 「自己のキャリア形成（進路選択）」に関連付ける  
⇒ 大学入試において、志望理由書・小論文・面接・グループディスカッションが増加。研究テーマと進路が関連付けられていることが望ましい。

#### STEP 2 リサーチクエスト

リサーチ（研究）クエスト（疑問または課題）つまり、「研究課題」のこと。

（例）テーマ：地球温暖化

リサーチクエスト：地球温暖化が進んでいるのはなぜか

研究目的：地球温暖化の原因を明らかにする

仮説：ごみの量を半分に減らせば、地球温暖化が改善される

結論：ごみの量を減らすことにより、地球温暖化が改善される可能性が示唆された

#### STEP 3 調査・実験

- ① 何を目的としてなぜその方法で調査や実験を行うのかを理解する（作業にならないように）
- ② 記録をとる（データ収集・分析、発表資料、研究の証拠）

#### STEP 4 まとめ・考察

- ① 結果は表や図を用いてまとめるとわかりやすい
- ② 得られた結果に対する考察を必ずつける。（なぜそのような結果が生じたのか。他の対象で調査実験を行った際にはどのような結果が生じるのか等をいれるとまとめやすい。）

#### STEP 5 発表資料作成

- ① 探究Ⅰ（ポスター）：まとまりがあり、一見して研究概要が理解できる。
- ② 探究Ⅱ（スライド）：見栄えもよく、ポスターよりも研究内容が丁寧に提示できる
- ③ 探究Ⅲ（論文）：研究の過程や思考の理論構造を提示できると共に、資料として残せる。